

# 文章検

2024年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 「不許複製」  
文章読解・作成能力検定 準2級B 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日  
2024年  
11月1日



## 第1問 【30点】

問1 1 イ 2 ア 3 ウ 4 エ 5 エ

問2 1 ウ 2 ア 3 イ

## 第2問 【30点】

問1 エ

問2 イ

問3 ア

## 第3問 【30点】

問1 ウ

問2 イ

問3 ウ

## 第4問 【40点】

問1 1 見当 ↓ 検討

2 拝見してください ↓ ご覧になってください / ご覧ください

3 ご無理

## 問2

### 解答例

ご依頼したい講義のテーマは、先生のご専門の統計学です。しかし、高校生には統計学の本格的な内容は難しいのではないかと思います。そこで、入門的な内容で講義をしていただけないでしょうか。(25字×4行)

裏へ続く

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問2 (25点)

チェックポイント	配点
(1) 3文の順序・つながりの言葉が適切であるか	8
(2) メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3) 誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (70点)

作成例にある記号の意味

**A**: 事実 **B**: 意見 **C**: 理由 **D**: 異なる意見とそれに対する反論

チェックポイント	配点
構成：事実・意見・理由・異なる意見とそれに対する反論の4段落になっており、段落の関係は論理的であるか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	5
第3段落：意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
第4段落：異なる意見は反対の立場のもので、それを否定する反論が述べられているか	5
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

\* 行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。  
実際の採点では部分点等を規定しております。

作成例1 「ある方がよい」立場

高校一年生のとき、私たちのクラスは同じ中学校の出身者同士が集まって行動しがちで、クラス全体がまとまっていなかった。そうしたなか、私たちのクラスは文化祭で演劇を行うことになった。そこで、舞台上で役を演じる演者、スケジュール立案、脚本執筆、大道具製作など、様々な種類の作業を分担し、一か月間の準備期間に入った。私が驚いたのは、脚本係になった子の文才だ。「すごいね」と話しかけると、「実はお芝居を見に行くのが好きなんだ」と教えてくれ、そこから話はずんだ。また、大道具係の子はDIYが趣味だという。そんなふうに、それまであまり話したことなかったクラスメートの新たな一面を知った人は、私のほかにも多かったようだ。本番を迎える前には、クラスメート間の距離が縮まり、クラス全体のまとまりが生まれてきた。

文化祭がなければ、クラスはバラバラで楽しくなかったはずだ。事前準備が必要な学校行事はある方がよい。こうした学校行事に必要な準備の内容は、多岐にわたる。だからこそ仲間同士の協力が不可欠である。準備におけるコミュニケーションを通してお互いの理解が深まり、交友関係を広げることができるのだ。

事前準備が必要な学校行事があると、その分、ふだんの学習時間が圧迫されて学習に悪影響を及ぼすという意見もある。しかし、学習時間が限られるからこそ効率的に学習する工夫が促される。その工夫を行事の準備期間以外にも生かせば、より多くのことを学習できる。したがって、学習に悪影響を及ぼすとは言い切れない。

(25字×26行)

作成例2 「ない方がよい」立場

中学校時代、文化祭で学校のある町のジオラマを展示することになった。その準備はクラス全員で分担したが、毎日家でも作業をする時間が必要ほど大変だった。私の場合、授業の予習や復習にかけられる時間を削ることになった。そのためか、文化祭後にあった定期テストの点数が下がった。また、体育祭で踊るダンスがうまくできず、深夜まで練習したこともある。そのときは授業中に居眠りをして、先生にじかられた。友人たちの様子を見ても、行事の前は、準備の進行状況が気になったりお祭りムードに流されたりして、授業が上の空になっている人が多かった。現在通っている高校では、事前準備が必要な行事はない。そのため、ふだんの学習に取り組み時間的な余裕ができた。

現在、私は充実した学校生活を送ることができている。事前準備が必要な学校行事はない方がよい。

なぜなら、学校行事の準備のための時間に圧迫されて、学生の自分である勉強がおろそかになるからである。学校行事に気を取られ、授業時間に集中できなくなることもある。

全員参加で協力して事前準備に取り組み学校行事がなければ、クラスの結束力が高まらないという意見もある。しかし、学校生活には、日常の当番活動や係活動など、行事以外にも仲間と協力して物事に取り組みることのできる機会は多数ある。これらの活動に真剣に取り組みることによって、結束力は十分に高まると考える。

(25字×25行)

# 文章検

2024年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 不許複製  
文章読解・作成能力検定 3級B 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日  
2024年  
11月1日



## 第1問 【30点】

- 問1 1 イ 2 イ 3 イ 4 イ 5 ウ  
問2 1 ウ 2 ア 3 イ

## 第2問 【30点】

- 問1 イ  
問2 エ  
問3 ウ

## 第3問 【30点】

- 問1 ア  
問2 イ  
問3 ウ

## 第4問 【40点】

- 問1 1 身↓見  
2 おっしゃいます↓申し上げます  
3 来月の

## 問2

### 解答例

対戦校にはこれまで一度も勝つたことがありませんでした。だから、どうせ今回も負けるに違いないとあきらめていました。しかし、先輩のはげましのおかげで、初めて勝つことができました。

裏へ続く

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問2 (25点)

チェックポイント	配点
(1)内容のまとまりごとに分割されているか	8
(2)傍線部の内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3)誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (70点)

作成例にある記号の意味

**A**: 事実 **B**: 意見 **C**: 理由

チェックポイント	配点
構成：事実・意見・理由の3段落になっており、事実／理由が意見に結びつくものになっているか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	10
第3段落：意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

\* 行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。実際の採点では部分点等を規定しております。

作成例1 「連絡しなくてよい」立場

友人と待ち合わせをしていたが、電車の遅延で到着が遅れることになった。私はすぐ友人に、5分ほど遅れると連絡を入れた。その後、大急ぎで待ち合わせ場所に行った。ほんのわずかの遅れで、ほぼ時刻通りに到着した。しかし、その場所に友人がいない。あわててまた連絡を入れると、「遅れてくるっていうから、コンビニで時間をつぶしてた」と言われた。そのあと、もどってきた友人は、「待たせてごめんね」と謝ってきた。私の方が遅刻したというのに、だ。しかも「あせったんじゃない？これ食べて落ち着いて」とコンビニで買ったらしいキャンディーまで渡され、申し訳ない気持ちになった。

どれだけ注意していても、約束していた時間に間に合わなくなることもある。だが、それが5分以内の遅れだった場合は、相手に連絡しなくてよい。

なぜなら、「遅れる」と相手に伝えると、相手に必要のない行動をさせたり、かえって気を使わせたりすることにもつながるからだ。5分程度なら、急げば間に合うかもしれない。遅れる連絡を入れるより、間に合うように急ぐ方がよい。

(25字×19行)

作成例2 「連絡するのがよい」立場

半年ほど前、友人たちと待ち合わせをした。そのとき私は遅刻してしまった。といっても、5分にも満たないわずかな時間だ。知らない相手との待ち合わせではないし、特に連絡を入れなくても、その程度なら普通に待っていてくれるだろうと思っていた。だが、遅刻した私に対して友人たちは口々に言った。「遅れるならそうと連絡を入れてくれないと、何か事故でも起きたかと心配する」「時間にルーズな人だと思わざるを得ない」「こっちが時間を間違えたのかと不安になった」という言葉の数々に、私は反論できなかった。

この経験以来、私は待ち合わせの時間は厳守すべきだと考えている。それでも間に合わない場合も出てくるだろうが、そのときはたとえ5分以内の遅れであっても、相手に連絡するのがよいと思う。

約束の時間にこちらが現れなければ、相手が心配してしまうことになる。また、そもそも約束の時間に遅れるのは失礼なことだ。だから、それが5分以内のわずかな遅れであっても、相手への連絡を欠かすのは、気づかないの不行為だといえる。さらには、そうした気づかないのできない人間だと、自分の評価を下げることもある。

(25字×20行)

# 文章検

2024年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 不許複製  
文章読解・作成能力検定 4級B 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日  
2024年  
11月1日



## 第1問 [40点]

- 問1 1 ウ 2 イ 3 ア 4 ア 5 ウ
- 問2 1 ア 2 ウ 3 イ 4 イ 5 イ

## 第2問 [20点]

- 問1 エ
- 問2 ウ

## 第3問 [40点]

- 問1 イ
- 問2 ア
- 問3 ウ
- 問4 ウ

## 第4問 [40点]

- 問1 イ
- 問2 ウ
- 問3 エ
- 問4

### 解答例

私は、まず妹といっしょに試合を見に行くことに決めました。そして、あとの一枚をどうしようかと妹に聞きました。すると、久しぶりにコーチと観戦したいと妹は言っていました。

(25字×4行)

裏へ続く

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問4 (25点)

チェックポイント	配点
(1) 3文の続き具合が不自然でないか	6
(2) メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	14
(3) 誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (60点)

作成例にある記号の意味

**A**: 事実 **B**: 意見

チェックポイント	配点
構成: 事実・意見の2段落になっており、事実は意見を支えているか	20
第1段落: 事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落: 自分の意見が、はっきりと示されているか	10
表記: 誤字脱字などのミスがないか	10
表現: 語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

\* 行数不足、行数<sup>ちようか</sup>超過は採点対象外(0点)です。  
 実際の採点では部分点等を規定しております。

**A** **B**

作成例1 「尋ねるのがよい」立場  
 とのクラスの、見た目が好みでひそかにあこがれている人がいる。話す機会がなく性格などは分からないが、仲良くなりたいと思っていた。ただ、もし無口だったり無趣味だったりして、話が続かない人だったらどうしようと不安だった。そこで、そのクラスの友人にその人のことを尋ねてみたところ、授業中は積極的に発言し、クラスの中心的な存在だと教えてくれた。また、野鳥観察が趣味だということも分かった。そこで、私なりに鳥の知識を得ようと、図書館で図鑑を借りたり、インターネットで鳴き声を調べたりしてから話しかけることにした。共通の話題ができたことで話が弾み、それ以来、親しい関係が続けることができている。  
 仲良くなりたい人の情報が事前に分かっていると、関連する知識を得ておくなどの準備ができて安心だ。そして、スムーズに交流を始めることができる。仲良くなりたい場合は、周囲にその人のことを尋ねるのがよい。  
 (25字×16行)

作成例2 「尋ねるのはよくない」立場  
 所属している高校のバスケット部では、定期的に他校との練習試合を行っている。ある高校に、シュートがとて上手な人がいて、いつかつながりを持ちたいと思っていた。その高校に通っている中学時代の友人に尋ねてみたところ、バスケットは上手だが、校則違反すれすれのことだったり、先生に反抗的な態度を取ったりすることがあるとのことだった。それを聞いて不安になり、つながりをもつのをあきらめた。ところが、ある練習試合後、その人から話しかけてきてくれて、実際には、とてもまじめでステキな人だと分かった。その場で連絡先を交換し、バスケットのことだけでなく、将来の夢を語り合うなど交流が続いている。中学時代の友人の情報は正確かなうわさにすぎず、事実ではなかったのだ。  
 周囲の人が正確な情報をもっているとは限らない。仲良くなりたい時に、周囲にその人のことを尋ねるのはよくない。  
 (25字×16行)

**B**

**A**